

第52回 四国中学校総合体育大会 (ソフトボール競技) 大会速報

【 男子 】 決勝戦 D球場(かすみの森公園西)



<重信中 8回裏サヨナラタイムリーを放つ阿部>



<池川中 3回の相手スクイズを好守で阻む>

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
池川中(高知県)	0	0	0	1	0	0	0	0		1
重信中(愛媛県)	0	0	0	0	0	0	1	1x		2

【バッテリー】 <先攻>(池) ●井上 匠 - 山中 紫音
<後攻>(重) ○八木 琢磨 - 太田 篤志

【長 打】 <本塁打> 谷口 魁(池)
<三塁打>
<二塁打> 山本 千浩(重)

【戦 評】

“重信中、序盤のチャンスを逃すも、耐えて守り、好打で決勝点をもぎ取る”

“池川中、先制本塁打もむなし、重信の粘りに涙をのむ”

重信中は3回、連打で無死満塁の好機をつくるが、池川中の好守に阻まれ、先制点を逃した。池川中は4回、好投を続ける重信中八木の失投をとらえ、5番谷口の本塁打で先制したが、その後好機をつくれなかった。8回のタイブレーカーでも1死3塁からダブルプレーで得点のチャンスを逃した。

粘る重信中は、最終回2死3塁から3番八木のタイムリーで同点。さらに8回は、1死3塁から6番阿部が2遊間を破るタイムリーを放ち、熱戦に決着をつけた。

両チームともにハイレベルな試合を展開し、観衆を魅了した。

【勝者インタビュー】

監督談

勝因は、先制点を許すも、あきらめず粘り強く戦うことができたこと。再三チャンスを逃したが、最後に1本出てくれた。狙い球をしぼれていなかったのが苦戦の原因。全国ではこのあたりも徹底していきたい。

主将談

チームとしては何度もチャンスを作り、最後まであきらめず攻め続けたのがよかった。全国1位を目標にしているので、さらに練習を積みたい。

若人よ 蒼き四国で **翻**くなれ!